

岡山県立倉敷工業高等学校 部活動に係る活動方針

1 目 標

- (1) 倉工の特色づくりのひとつとして、部活動をととして、競技力や技能の向上を目指すとともに、逞しく粘り強い精神と体力、豊かな感性を養成し、好ましい人間関係の構築を図る。
- (2) 部活動をととして、礼儀・挨拶・清掃等、社会に出て役立つ態度や習慣を育成する。
- (3) 運動部及び文化部等の自主的・主体的で活発な活動を促し、学校全体の活性化を図る。

2 本年度の部活動運営

- (1) 設置する部活動（体育系 20 部、文科系 7 部、科学技術系 7 部、同好会 2 団体）

- ・硬式野球 軟式野球 バasketボール 陸上競技 バレーボール ハンドボール バドミントン
ラグビー テニス ソフトテニス サッカー 卓球 柔道 剣道 弓道 ウェイトリフティング
ボクシング カヌー 水泳 応援団
- ・写真 吹奏楽 社会問題研究 書道 陶芸 美術 将棋
- ・電気 構造研究 科学 設計製図 環境化学 メカトロニクス研究 テキスタイル
- ・ボウリング 軽音楽

- (2) 休養日及び活動時間について

- ① 休 養 日 平日・休業日：原則として週 2 日休養日を設ける。
試合等により土日いずれも活動する場合は、前週又は、次週に振り替えて休養日を設定することとする。ただし原則を外れる場合は【別紙】のとおりである。
- ② 活 動 時 間 移動、準備、片付け、ミーティング、試合間の休憩、見学等は含まない、一人の生徒の身体的トレーニング効果が期待される時間とする。(実活動時間)
本校は、練習場所の広さに対して活動人数が著しく多く、個人としての活動時間は、全体の活動時間よりはるかに短い現状となっている。よって、各部で実際に活動する生徒のうち、最も実活動時間の多い生徒を基準とする。

平 日：2 時間程度 休業日：3 時間程度 週あたりの上限は 16 時間程度
--

- ③ 長期休養期間（オフシーズン）は各部の実情にあわせて、適切なオフシーズンを設ける。
- ④ 定期考査 1 週間前（土日含む）は部活動を行わない。
(ただし、大会が定期考査後に開催される場合は、届け出を行い、2 時間以内の練習を許可する。)

- (3) 大会参加、県外遠征等

- ・大会に参加する場合や、県外遠征等を計画する場合は、生徒派遣願を提出する。

3 その他

- (1) 部活動顧問会議（研修会の実施等）について
年度初めに等に顧問会議を実施し、共通理解を図ることとする。
- (2) スケジュールを作成
顧問は活動計画を作成し、生徒・保護者へ連絡する。
- (3) 安全対策について
生徒が安心して活動に取り組めるよう、事故防止及び体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。
- (4) 部費の取扱について
各部において必要に応じて部費を徴収する場合もある。部費については、帳簿を作成する。決算報告については、校長に提出し、保護者に報告する。監査は保護者代表がおこなう。

上記の活動を原則としながら、本校の特色や参加大会の日程、生徒の意思に留意した活動計画を立てていきます。

【別紙】

「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に示す原則を外れる場合

(1) 休養日

- ア 本校の特色づくりの観点から、次の運動部については、生徒の能力・適正や、健康・安全に十分配慮することで、休養日を週当たり1日以上とすることを認める。
- イ 特殊な場所や環境での活動が必要なことから、次の運動部については、生徒の能力・適正や、健康・安全に十分配慮することで、休養日を週当たり1日以上とすることを認める。

アに該当する部活動

硬式野球 軟式野球 バasketボール 陸上競技 バレーボール ハンドボール バドミントン
ラグビー テニス ソフトテニス サッカー 卓球 柔道 ウェイトリフティング ボクシング

イに該当する部活動

カヌー